

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【主体的に学習に取り組む態度】

運動を楽しみ、主体的に運動に取り組む姿勢を身に付けさせたい。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	・集団行動を学ばせ、向上していく。 ・運動に親しみ、楽しむ雰囲気がある。 ・知識・技能の観点において二極化がみられる。	・集団行動の合理性を理解させ、継続して指導にあたる。 ・夏休みの補習教室の実施。	・通年	・集団行動を素早く行うことができるようになった。 ・意欲的に運動に親しむことを、まとまりをもって行うことができるようになった。
第2学年	・集団行動に関して、向上傾向がみられる。 ・生徒の主体性が強まっている。 ・泳力の低い生徒が例年より多く見受けられる。	・男女共習の利点を生かし、相互の良い点を認めさせながら意欲を引き出させる。 ・夏休みの補習教室の実施。 ・ICTの活用により、比較や修正を効率的に行っている。継続して行う。	・通年	・男女仲が良く、共習で課題に取り組むことに前向きに取り組んでいる。 ・水泳の補習を行った。継続して1学期と夏休みに指導していく。 ・長距離走においてもICTを活用し、運動を数値化・グラフ化することで課題を明確にすることができている。
第3学年	・意欲的に運動を行える。 ・泳力の低い生徒が例年より多く見受けられる。 ・他者とのやり取りが課題。	・男女共習の利点を生かし、相互の良い点を認めさせながら意欲を引き出させる。 ・対話的で深い学びにつながるようICTの活用を継続して行う。	・通年	・相互の良い点を認め合いながら、授業に取り組むことが出来ている。他者とのかわりを積極的に取ることができた。 ・武道やダンスにおいてもICTの有効活用を続けながら、深い学びへと繋げていく。

■ICTを活用した授業における改善策

1年

2年

3年

3学年とも単元に応じてPCを利用した動画撮影や見本の共有、調べ学習を行っていく。